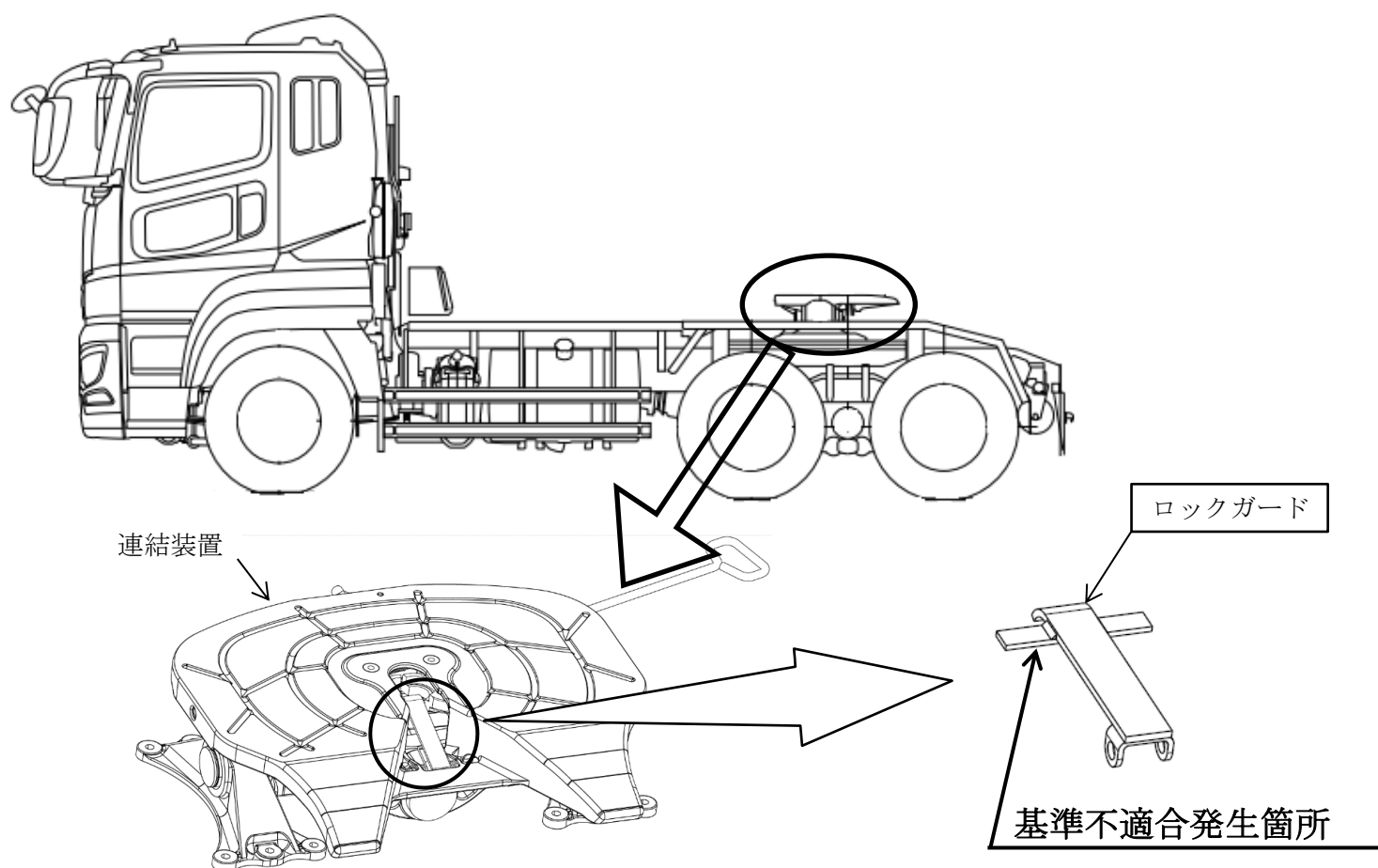


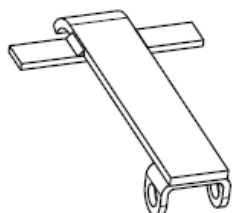
## 改善箇所説明図



注：□は交換する部品を示す。

大型トラクタの連結装置において、誤連結を防止するロックガードの形状が不適切なため、トラクタとトレーラの高さがあっていない状態で連結操作をおこなうと、ロックガードが正しく作動せず誤連結状態となるとともに、メータ内に連結完了を示すカプラロックのランプが点灯することがある。そのため、走行中にトレーラが分離するおそれがある。

### 改善前



### 改善後



改善の内容：全車両、ロックガードを対策品に交換する。なお、対策品に交換するまでの間、使用者へ連結操作時にトラクタとトレーラの高さを合わせることを、および完了後に連結状態を目視確認することを周知する。

識別：改善実施済車には連結装置左後方の銘板に白色ペイントを塗布する。